

# キラリ 輝け 山陽中 No.17 (26.05.28) 文責 内海雅章

## 教育実習生が来ています

山陽中学校では、令和8年度の教育実習生を、6月25日(月)から3週間の日程で受け入れています。今年、7名の教育実習生が来ています。明日の教師を目指す、大学3,4年生です。

中学生に一番年齢が近い存在になります。教育実習生と接することで、将来「先生になりたい!」と思ってくれる生徒が増えればいいなと願っております。

三週間よろしくお願ひします。



## 「トライやる・ウィーク」開始、間近になりました



今年の2年生「トライやる・ウィーク」は、『未来に向かって挑戦だ!自分探しに新たな発見』のスローガンのもと、来週6月1日(月)~5日(金)の日程で行われます。スローガンは、矢野葵彩さん(2-9)、ポスターは、赤田詩奈さん(2-7)のデザインです。現在の予定では、100を超える114の事業所に協力をお願いすることになりますが、このご縁に対する、感謝の気持ちを忘れずに5日間取り組ませたいと思っております。

「トライやる・ウィーク」が兵庫県で実施されるようになった経緯は、1995年の阪神淡路大震災後、「社会に開かれた教育課程」の考え方による地域との連携の充実より、県内の公立中学2年生を対象として1998年度(平成10年)から実施されるようになりました。職場体験、福祉体験、勤労生産活動など、地域での様々な体験活動となっています。

「トライやる」の一週間が終わった時、生徒たちは、社会的自立に向けたキャリアが一層充実していることを期待しています。

5月27日、事前指導、校長からの話(抜粋)

私から、皆さんにどうしても守ってほしい約束が2つあります。

一つ目は、「挨拶」と「返事」を徹底することです。

どんなに仕事が上手くできても、挨拶や返事ができない人は信頼されません。逆に、不器用でも「おはようございます!」「ありがとうございます!」「はい!」と元気よく大きな声で言える人は、どこに行っても応援してもらえます。挨拶は、皆さんの心を開き、相手の心を開く魔法の言葉となります。

二つ目は、山陽中学校の代表としての自覚を持つことです。

皆さんが活動する場所には、一般のお客さんや地域の方々がたくさんおられます。皆さんの行動一つひとつが、「山陽中学校の生徒」として見られます。名札を胸につけた瞬間から、皆さんは学校の代表であり、社会人の仲間入りです。ルールやマナー、時間を守ることは、相手への最低限の礼儀です。

